ぶどう（デラウェア）（露地、雨よけ）

発芽	展葉	開花始	満開	落花	収穫盛
4.24	4.30	6.4	6.8	6.12	8.15

平年値（東根市関山）北村山農業技術普及課調査

散布時期	適用病害虫名	散布薬剤名及び散布濃度（薬液100ℓ当たり）		農薬使用基準 収穫前使用時期	農薬使用基準 総使用回数	10a当たり散布量	注意事項（収穫前日数　総使用回数）を表す	散布日（月／日）	使用薬剤	使用濃度
休眠期	露地栽培で晩腐病が多い場合は、トップジンMペースト３倍（休眠期（萌芽前）３回以内）を結果母枝を主体に塗布する。									
３月下旬（休眠期）	晩腐病 黒とう病 （ブドウトラカミキリ）	１．デランフロアブル	200倍（500cc）	休眠期	１回	300ℓ	１．休眠期の防除は、必ず粗皮削りをしてから散布する。 ２．前年の房の取り残し部分及び巻ひげなどの除去は晩腐病防除に重要であるから徹底する。 ３．**前年ブドウトラカミキリの秋散布を実施しない園では、この時期トラサイドA乳剤300倍（発芽前（休眠期）、２回以内）を加用する。また、周辺の訪花昆虫保護のため３月下旬までに散布を終えること。**	／		
状況５月上旬（展葉２～３枚）	ツマグロアオカスミカメ	１．ウララＤＦ	2,000倍（50ｇ）	開花前まで	2回以内	200ℓ	１．ツマグロアオカスミカメの発生が心配される園では散布する。	／		
この回以降の散布は殺虫剤解禁後とする										
５月中～下旬（展葉４～５枚）	晩腐病 べと病 褐斑病 黒とう病	１．ホライズンドライフロアブル	2,500倍（40g）	21日前まで	３回以内	200ℓ	１．**前年晩腐病が発生した園地では、枝かけ具（バンシャット）を設置する。** ２．ホライズンドライフロアブルは他樹種に飛散させない。	／		
	フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	２．アグロスリン水和剤※1	1,000倍（100g）	21日前まで	５回以内					
６月上旬（第１回ジベ処理直後）	灰色かび病	１．オーシャイン水和剤	2,000倍（50g）	７日前まで	２回以内	250ℓ		／		
晩腐病重点防除	晩腐病 べと病	２．オーソサイド水和剤80	800倍（125g）	30日前まで	３回以内					
６月中旬（落花直後）	黒とう病 褐斑病 さび病 灰色かび病	１．パレード15フロアブル	2,000倍（50cc）	７日前まで	２回以内	250ℓ	１．**晩腐病が発生する園地では果房に笠掛を行う。** ２．果粉溶脱防止のため、大きさが小豆大までとする。	／		
	べと病	２．ベトファイター顆粒水和剤	2,000倍（50g）	30日前まで	３回以内					
	チャノキイロアザミウマ ハスモンヨトウ ブドウサビダニ	３．グレーシアフロアブル	4,000倍（25cc）	７日前まで	２回以内					
６月下旬（第２回ジベ処理直後）	晩腐病 黒とう病、さび病 灰色かび病	１．ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍（33.3g）	14日前まで	３回以内	300ℓ	１．汚染防止のため、この回以降は展着剤を使用しない。 ２．６月下旬になると晩腐病の胞子が雨によって飛散することが多くなるのでていねいに散布する。	／		
７月上旬	黒とう病 晩腐病 褐斑病 灰色かび病 さび病 （コガネムシ類成虫） （カイガラムシ類） （ハダニ類）	１．オンリーワンフロアブル	2,000倍（50cc）	前日まで	３回以内	250ℓ	１．**とび玉が入る迄に散布する。** ２．さび病、べと病、褐斑病の多発する園では７月上旬、中旬、下旬の３回下記薬剤を棚上散布する。雨が多い場合は引き続き８月上旬まで棚上散布する。 棚上散布薬剤（100ℓ当たり薬量）／散布量 Ｚボルドー　500倍（200g） クレフノン　100倍（１kg）／300ℓ ３．コガネムシ類成虫、カイガラムシ類の発生した園ではモスピラン顆粒水溶剤2,000倍（14日前まで、３回以内）を散布する。 ４．ハダニ類の発生が見られる園では、コロマイト水和剤2,000倍（７日前まで、２回以内）を加用する。	／		
収穫直後	べと病	１．ICボルドー66D	25倍（４kg）	－	－	250ℓ	１．**キクイムシは樹勢が弱ると多くなるので樹勢維持に注意する。**なお、発生が見られた園では、見つけ次第捕殺する。 ２．他樹種に飛散させない。 ３．スミチオン水和剤40は収穫前日数が長いので、収穫前の大粒種へ飛散させない。	／		
	コガネムシ類成虫 フタテンヒメヨコバイ ブドウトラカミキリ	２．スミチオン水和剤40	1,000倍（100g）	90日前まで	（収穫終了後から萌芽までは２回以内）					
状況９月上～中旬	べと病	１．ICボルドー66D	25倍（４kg）	発病前～発病初期	－	250ℓ	１．降雨が続く場合散布する。	／		
休眠期	ブドウトラカミキリ	１．ガットキラー乳剤	100倍（1ℓ）	休眠期（落葉後～萌芽前）	２回以内	300ℓ	１．幼虫期をねらって結果枝に十分散布する。隣接して収穫前のりんごがある園では、りんごの収穫後に散布する。	／		

収穫前使用時期で「前日」とは24時間前である。
ハウスや雨よけ栽培では暦日でなく生育に合わせて散布する。
※１ 合成ピレスロイド剤は蚕毒・魚毒が強いので、桑園・養魚池、河川などの近くでは絶対に使用しない。